



始めましょう Lifecycle planning

NetApp
November 10, 2025

目次

始めましょう	1
ライフサイクルプランニングについて学ぶ	1
NetApp Console	1
ライフサイクル計画で何ができるでしょうか?	1
ライフサイクルプランニングのメリット	1
料金	1
アクセス	2
ライフサイクル計画の前提条件	2
ライフサイクル計画のクイックスタート	2
ライフサイクル計画を設定する	3
NetApp Consoleでコンソールエージェントを作成する	3
NetApp Consoleでクラスタを検出する	3
アクセスライフサイクル計画	3
ライフサイクル計画に関するよくある質問	4
ライフサイクル計画へのアクセス	4
ライセンス	4

始めましょう

ライフサイクルプランニングについて学ぶ

ライフサイクル プランニングでは、現在または予測される低容量のストレージ資産を評価し、ビジネス ニーズを満たすデータ階層化オプションに関する推奨事項を提供します。

NetApp Console

ライフサイクル プランニングには、NetApp Consoleからアクセスできます。

NetApp Consoleは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとデータ サービスの集中管理を提供します。NetAppデータ サービスにアクセスして使用するには、コンソールが必要です。管理インターフェースとして、1つのインターフェースから多数のストレージ リソースを管理できます。コンソール管理者は、企業内のすべてのシステムのストレージとサービスへのアクセスを制御できます。

NetApp Consoleの使用を開始するためにライセンスやサブスクリプションは必要ありません。ストレージ システムまたはNetAppデータ サービスへの接続を確保するためにクラウドにコンソール エージェントを展開する必要がある場合にのみ料金が発生します。ただし、コンソールからアクセスできる一部のNetAppデータ サービスは、ライセンスまたはサブスクリプションベースです。

詳細はこちら ["NetApp Console"](#)。

ライフサイクル計画で何ができるでしょうか？

ライフサイクル計画は、次の目標を達成するのに役立ちます。

容量情報

- 環境内で容量が低下しているストレージ資産を特定します。
- 資産の現在の容量と予測容量を確認します。

ライフサイクルプランニングのメリット

ライフサイクル プランニングには次のような利点があります。

- ライフサイクル イベントに近づいているシステムを特定し、テクノロジーの更新を計画するのに役立ちます
- 環境内の容量の問題に対処するための信頼できるアドバイザーの推奨事項を提供します
- 追加ストレージの計画にかかる時間を短縮

料金

NetApp、ライフサイクル プランニングの使用に対して料金を請求しません。

コールド データをクラウド ストレージに階層化する場合は、適用される料金についてクラウド プロバイダー

に確認する必要があります。

アクセス

この機能には、NetApp Console(* ストレージ * > ライフサイクル プランニング *) または **Active IQ Digital Advisor (Digital Advisor**とも呼ばれます) (ダッシュボード * > *計画ウィジェット * > *技術更新 *) からアクセスできます。

ライフサイクル計画の前提条件

運用環境、ログイン、ネットワーク アクセスの準備状況を確認して、ライフサイクル プランニングを開始します。ライフサイクル計画を使用するには、環境がすべての要件を満たしていることを確認する必要があります。

- ご使用の環境は、Web ブラウザからのログインやネットワーク アクセスなど、NetApp Consoleのすべての要件を満たしている必要があります。

参照 ["NetApp Consoleのクイックスタート"](#)そして ["NetApp Consoleのネットワーク情報"](#)。

- クラスターへのアクセス資格情報が必要です。
- 必須ではありませんが、NetApp Consoleエージェントが配置され、有効になっており、ONTAPシステムが検出されていると便利です。そうでない場合は、サービスがそのプロセスを案内します。
- コールド データをクラウド ストレージに階層化することを計画している場合は、クラスターがライセンスごとに適格であることを確認してください。

ライフサイクル計画のクイックスタート

ライフサイクル計画を開始するために必要な手順の概要を次に示します。各ステップ内のリンクをクリックすると、詳細情報を提供するページに移動します。

1

前提条件を確認する

["環境がこれらの要件を満たしていることを確認してください"](#)。

2

ライフサイクル計画を設定する

["ライフサイクル計画を設定するための手順を完了します"](#)。

3

次は何？

ライフサイクル計画を設定したら、次に行うことは次のとおりです。

- ["容量ステータスを確認する"](#)。
- ["コールドデータをクラウドストレージに階層化してストレージを解放する"](#)。
- ["必要に応じて、再度確認するためのリマインダーを設定します"](#)。

ライフサイクル計画を設定する

ライフサイクル プランニングを使用するには、いくつかの手順を実行して設定します。

- レビュー["前提条件"](#)システムの準備ができていることを確認します。
- NetApp Consoleでコンソール エージェントを作成します。
- コンソールでクラスターを検出します。

コンソール内で直接コンソール エージェントを作成し、後でBlueXP economic efficiencyでそのエージェントを使用することができます。または、容量修復プロセスの途中でコンソール エージェントを作成することもできます。

同様に、コンソールを使用して事前に、または容量修復プロセス中にクラスターを検出することもできます。

NetApp Consoleでコンソールエージェントを作成する

NetApp Consoleエージェントには、NetApp ONTAPマシンへの資格情報が含まれています。

サービスを使用する前にコンソールでコンソールエージェントを作成するには、コンソールのドキュメントを参照してください。 ["NetApp Consoleエージェントを作成する方法"](#)。

NetApp Consoleでクラスターを検出する

セットアップの一部として、コンソール内でクラスター名、IP、ユーザー名、およびパスワードを識別することが含まれます。

ライフサイクルプランニングを使用する前の手順については、 ["オンプレミスのONTAPクラスターの検出"](#)。

アクセスライフサイクル計画

ライフサイクル プランニングにアクセスするには、NetApp Consoleを使用します。

コンソールにログインするには、NetAppサポート サイトの資格情報を使用できます。 ["ログインについて詳しくはこちら"](#)。



この機能には、NetApp Console(* ストレージ* > ライフサイクル プランニング) またはDigital Advisor (* ダッシュボード* > 計画ウィジェット > 技術更新) からアクセスできます。

手順

1. ウェブブラウザを開いて ["NetApp Console"](#)。

コンソールのログイン ページが表示されます。

2. コンソールにログインします。
3. コンソールの左側のナビゲーションから、ストレージ > ライフサイクル プランニング を選択します。

ライフサイクル計画に関するよくある質問

この FAQ は、ライフサイクル計画に関する質問への簡単な回答を探している場合に役立ちます。

ライフサイクル計画へのアクセス

ライフサイクル プランニングの **URL** とは何ですか？

URL については、ブラウザで次のように入力します。 "<https://console.netapp.com/>" NetApp Consoleにアクセスします。

ライセンス

ライフサイクル プランニングを使用するにはライセンスが必要ですか？

NetAppライセンス ファイル (NLF) は必要ありません。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。